

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 86 号 2021 年夏号

2021 年 9 月 3 日発行

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行
発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415
<http://nadogaya-biotope.com/>

土小学校 1, 2 年生が ビオトープで楽しんでいきました



土小の「校外学習」が6月22日にビオトープで行われ、梅津校長はじめ10人の先生方と134名の児童が「ザリガニ釣り」や「いきもの観察」等で楽しい時間を過ごしました。児童数が多くて作業場敷地では入れきれず、道路にはみ出していた案内となりましたが事故やけがもなく無事終了し、後日、全員からの感謝お便りをうれしく読ませていただきました。ビオトープ会員にも閲覧しています。

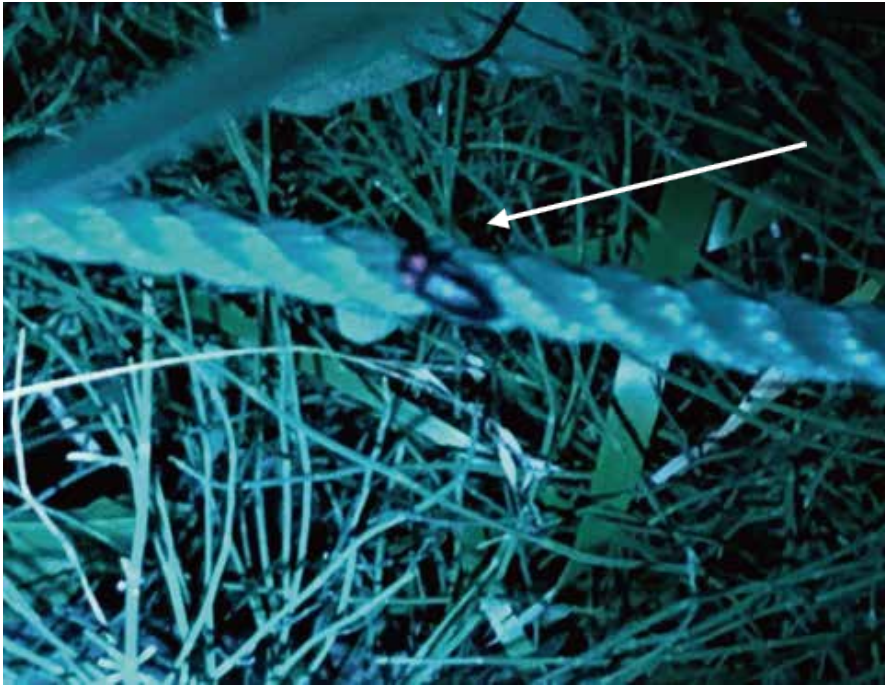
(小笠原 智)

「2020東京オリンピック」で 活躍しました



おめでとうございます。そして、お疲れさまでした。
ビオトープでも活躍してください！

ハイケボタルの観察会



小笠原会長がホタル水路近くの木道際で撮影

今年も6月に3回の観察会を実施しました。一般市民向けにポスター掲示をし多くの参加者が見えました。結果は初回と2回目に2匹の発光を確認し、最終日は確認出来ず残念でした。小笠原会長の設置された遮光ネットで観察がしやすくなりました。今年は昨年に比べて低調で、来年はホタルの良い環境作りを早めに進めて行きたいと思います。

※4月17日(土)、松清さんの飼育された幼虫120匹をホタル水路へ放流。

・第1回目 6月13日(日) 19:45～
気温24度、曇り、風あり
2匹を確認。ホタル水路際のヤナギ周辺で発光と飛翔をしていました。
参加者は会員6名、近隣家族連れ12名で観察できて喜んでいました。

・第2回目 6月20日(日) 19:45～
気温24度、曇り、無風
2匹を確認。北側のヤナギの両サイドの草に止まり発光。
参加者は会員8名、近隣家族連れ25名ほどで賑わい観察できて喜んでいました。

・最終回 6月26日(土) 19:45～
気温25度、曇り、無風 ※雨予報で前日確認できません。参加者は会員家族10名、近隣家族連れ9名で残念。

観察会前の9日に小笠原会長が観察に行き、1匹発光しながら飛翔を確認。
下の写真はその時撮ったものです。
観察会参加の皆様、大変有難うございました。
来年に期待です。 (藤平 三郎)

ジョウロウスゲ（上臈菅）の発見

26日の草刈り作業の時に、出井さん、中村さん、久保田さん、山村らが珍しいカヤツリグサの一種を見つけました。

Bゾーン湿地の新しい中央、南北の木道、曲がり部分の角のあたりです。

名前はジョウロウスゲ「上臈菅」です。花穂の姿が高尚だとしてこの名がついています。写真ではわかりにくいですが、実物は高さがあり立派です。

ジョウロウスゲは環境省RDB（レッドデータブック）絶滅危惧Ⅱ類

柏市ではしばらく見られなかったのですが、不思議なことに今年は何ヶ所かで見出ているようです。今年だけなのかもしれませんので、是非観察して下さい。（山村 和子）



～隠れているよ 探してみよう～



湿地ゾーンにて。細長い葉を上手に
三つ折りにしているね。
中に何がいるんだろう？



ヤマトコマチグモ。
ススキやチガヤの葉を
巻いて、巣を作るよ。



田んぼゾーンにて。稲の葉同士を
つないで網を張り、真ん中は
ジグザグミシンをかけたよう。



ナガコガネグモ。
まだ幼体で小さい。自分で作った
ジグザグの「かくれ帯」につかまって、
昆虫などのエサをとらえるのを
待っている。



イチョウウキゴケ。田んぼの水面にウキクサに
混じってときどき出現する。コケ類で、日光に
よく当たると分裂して増えるほか、胞子を作る。
千葉県ではカテゴリー A (最重要保護生物) と
されている。

2021.7.17 (高橋 紀子)

月例活動状況のお知らせ（6月から8月まで）

6月20日（日）

A ゾーン もち田のコナギ取りと B ゾーン ヨシの刈取り作業でした。当日はボーイスカウト第10 団がザリガニ釣りに来場で大賑わいでした。小笠原会長からボーイスカウトに、ビオトープの概略説明もしました。雨上がりの後のムシムシとして熱中症に十分注意しました。



A ゾーン もち田のコナギ取り



B ゾーン ヨシの刈取り



ボーイスカウト父兄にビオトープの説明

7月17日（土）

朝から日差しがキラキラ照り付け真夏日となりました。Aゾーン 休耕田のアメリカセンダングサ、ホタル水路周辺の草刈り、B ゾーン ヨシ、ガマ、セイタカアワダチソウの刈取り作業でした。作業中にはニホンアカガエルやシュレーゲルアオガエルなども飛び出して来ました。



B ゾーン草刈り取り



A ゾーン アメリカセンダングサ刈取り



ホタル水路周辺の刈取り

8月21日（土）

朝から曇天で蒸し暑い日となりました。A ゾーン田んぼで雀除けのネット張りとはざがけパイプの組み立て一部を行いました。毎年の事から段取り良く作業が捗り短時間で終わりました。9月いよいよ稲刈りです。
(藤平 三郎)



整列してネットを運ぶ



ネット張りで周辺に杭を立て結ぶ



はざがけパイプの組み立て

新入会員紹介

高瀬 千尋さん

以前より両親が会員として活動しておりましたが、子供が生まれ柏に戻ってきたこと、その後まもなく新型コロナウイルス流行が始まったこともあり、親子で煩雑にビオトープを訪れるようになりました。

好奇心旺盛な息子がザリガニ釣り、カエルの卵の観察など、たくさんの「初めて」に出会える名戸ヶ谷ビオトープは、私たち親子にとって貴重な場所です。

息子は博学な小笠原会長とお話するのもとても嬉しいようです。

現在は育児中心の生活のため、なかなか活動には参加できず、心苦しい限りですがどうぞよろしく願いいたします。

↓息子さんの写真



9～11月の活動予定

- 9月 ● 11日・12日 稲刈り(会員のみ)
- 18日 9月定例活動日
- 生き物観察会は中止
- 10月 ● 上旬 脱穀作業
- 6日 秋の生態調査
- 16日 10月定例活動日
- 11月 ● 収穫祭は未定
- 20日 11月定例活動日

注) 詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約 4,400 m² 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物 26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）